



きょうかしょ で さくしゃ ほか さくひん しょうかい よ
教科書に出てくる作者の他の作品の紹介です！ぜひ読んでみてください！



クリーニングのももやまです
はちかい みみ さく 蜂飼 耳 / 作
川のほとりにたつクリーニング屋さん。お客さんのどんなものでも心をこめて、ていねいに仕上げる。ちょっと変わったお客が様々な品物をもって来る。多くのふしぎと出会い、ある日ついに旅立つももやまさん。



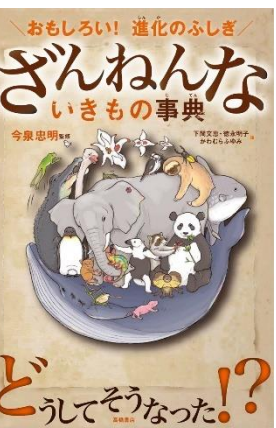
まんげつの夜、どかんねこのあしが いっぽん
くつき しょう さく 朽木 祥 / 作
ひとりぼっちでさみしかったノネコは、おいしい坊。食べても食べてもお腹がいっぱいにならないような気がしてました。そして、いつの間にか狸みたいに大きくなってしまったのですが、それは、なんと人間のようです。



月の輪グマ
つきのわ
むく はとじゅう さく 今村 葦子 / 作
子グマをつかまえようとした私たちは、母グマのおそろしいほえごえをきいた。子グマをたすけるために、母グマは、滝のてっぺんから滝つぼめがけてとびこんだ。いくら強いクマでも、あんな高いところから、とびこんだら…。



うきわねこ
はちかい みみ さく 蜂飼 耳 / 作
こねこの名前はえびお。えびおの誕生日におじいちゃんから送られてきたのは「うきわ」でした。手紙には「次の満月の夜を楽しみにしててください」と書いてあり、えびおはその言葉を胸に、ひとり心待ちにするのです。



ざんねんな いきもの事典
じてん
いまいずみ ただあき かんしゅう 今泉 忠明 / 監修
「ざんねん」とは、生き物たちの『進化のあかし』生き物は進化してきたからこそ、すごい部分も、ざんねんに思える部分も、あわせもっています。キリンやゾウ、カバなどいろいろな生きもののざんねんが詰まった一冊です。



ぶな森のキツキ
いまむら あしこ さく 今村 葦子 / 作
大あらしのつぎの日からすっかり無口になってしまったキツキ。仲間のリスが話しかけても、ぷっとふくれたようにだまりこんでいました。みんなが心配して声をかけても、だまりこんだまま木の根元にすわって動こうとしません。



きみの友だち
しげまつきよし さく 重松 清 / 作
足の不自由な恵美ちゃんと病気がちな由香ちゃんは、事件がきっかけでクラスのだれとも付き合わなくなった。学校の人気者、ブンちゃんは、転校生モトくん。のことが何となく面白くない。「友だち」の本当の意味をさがす本。



かたあしの母すずめ
むく はとじゅう さく 今村 葦子 / 作
へび たまご と す 蛇に卵を盗られたり巣を焼かれたり…。何度もかなしみがおとずれようと、ぜつぼう 絶望せずにはすずめは前をむいて、ただ見まもるしかない私をおどろかせる。ひなを必死にまもる、母親のすずめの、強くやさしいすがたをえがいた話。



なきむし
いまむら あしこ さく 今村 葦子 / 作
勇氣くんが「なきむし」というあだ名をもらったのは、転校してきた日のことでした。それは、その日に派手に泣いたからでした。教室にスズメがまよいこみ、おいかけてまわしているみんなに、「にがしてやって！」と泣き出したのです。

ぼん
カラー版はHPにあります